

令和2年度 第1学期 終業式 校長式辞

3月に始まり、4月、5月と3ヶ月にも渡る、今までに誰も経験したことのない、長い休校から、学校が再開したのが、6月1日。早いもので、あれから2か月が経ち、本日で7月も終わりとなり、明日からは、例年より少し遅く、そして短い、夏休みとなります。

今年のこの経験は、みなさんの何倍も生きてきた校長の私でも初めての経験であり、これから先もまだどうなるのか分からない情勢であります。今回のコロナウイルスの件も含め、世界はまさに、先の見えない混沌とした状況であり、生徒諸君は、これからそのような激動の時代の中を、しなやかに、そして力強く生きていかなければなりません。このことを決して忘れることなく、中学時代を過ごし、飯沼中学校を巣立って行ってください。

さて私は、みなさんが各教科の先生方と共に、授業で真剣かつ楽しそうに勉強している姿を見るのが好きで、いつも教室や体育館などをうろうろと見て回っています。そこで感じることは、いまふうに分かりやすく言うと、学習に対して草食系だなと思います。つまり、控えめというか、黙って授業を聞いて、ノートを取り、先生がやりなさいと言った課題をやる…。これでは、先ほど言った、これからの世界では生きていけません。そうではなく、もっと積極的に自分の意見を発表したり、仲間の考え方や解き方を聴いたり、疑問に思ったことを質問したり、そして分からない時は分からないと言う。そして先生や仲間に教えてもらう。このような積極的な学びができないと、将来、何事も全て、受け身の生き方になってしまいます。これからの時代は、自ら課題を見つけ、仲間と力を合わせながら、課題解決に必要な情報を様々な角度から収集したり、積極的に情報発信したりしながら解決をし、より良く生きていく力を身に付けて行かなければなりません。飯沼中学校から世界へ、飯沼中学校から未来へと、卒業生が巣立ち、活躍できるように、先生方も日々、教師としての勉強をしています。みなさんもこれからもっともっと、積極的に学校で学び、成長してください。

さて、明日からは、待ちに待った夏休みです。1、2年生の生徒諸君は、学習と部活動をしっかりと両立し、2学期からの飛躍のための足固めのための期間としてください。また、3年生の生徒諸君は、なんといっても学習をがんばることで。受験とは他の受験生との点数による勝負です。各高校では、だいたい同じくらいの学力の中学生達が受験をするわけですから、勝負の分かれ目は、1点をきちんと取るかどうかということなのです。期末テストや東部地区の学力テストで、時間が余り、突っ伏して寝ている3年生を見かけました。部活動の試合やコンクールを思い出してください。当日だけ必死にやったところで、結果はついてきませんでしたよね。勉強、そして受験も同じです。人事を尽くして天命を待つという言葉があります。やれる事は全てやり尽くし、あとは神様の出す結果を待

つのみということです。この夏休みの期間も、やれる事は全てやり尽くすことができるかどうか。これから毎日、その日一日の自分の取り組みに向き合いなさい。人事を尽くして天命を待つ、というところまで、自分が取り組んでいるのかどうか、自分で自分に問いなさい。

最後に、これは全校生徒に対して言っておきます。友達の家を集まり、ゲームをして騒ぎ、近所の方に迷惑をかける。公園を集まり、同じく地域の住民に迷惑をかけるという苦情がここのところ学校に入ります。君たち一人一人は、飯沼中学校の生徒という肩書があるのです。学校、そして歴代の先輩方の輝かしい経歴に泥を塗ることのないように、中学生として自覚を持った生活をしてください。

短い夏休みではありますが、健康に気をつけて、次は、8月21日に学校で会いましょう。以上です。

令和2年7月31日 春日部市立飯沼中学校長